

報道関係者各位

2026 年 8 月 17 日

株式会社東京コンサルティンググループ

AI で自社の業務を分析、8 人で月 331 時間の削減余地を発見 メール対応だけで月 145 時間、ファイル管理にも「見えない無駄」

自社開発の AI 業務診断を中小企業へ無料提供

1998 年創業、世界 26 か国 34 拠点で企業の経営支援を行う東京コンサルティンググループ（中核会社：株式会社東京コンサルティングファーム、本社：東京都新宿区、代表取締役会長：久野康成）は、自社で開発した AI を活用し、社員の業務を分析する仕組みを構築しました。総務・管理部門など 3 部署・8 名を対象に約 1 か月間検証した結果、月 331 時間分の削減余地を確認。メールの確認・返信だけで月 145 時間を費やしていたほか、同じ集計ファイルを 2,000 回以上開くなど、これまで見えていなかった業務上の無駄も明らかになりました。

自社で実際に活用し、業務の可視化によって具体的な改善ポイントを特定できることを確認したことから、2026 年 8 月 1 日より、この仕組みを中小企業向けの「AIBOU 無料業務診断」として提供しています。



■ 「仕事をさせる」のではなく、「自分たちの仕事を知る」AI を開発

生成 AI の活用が広がる一方、「何から AI 化すればいいのか分からない」「AI を導入したものの、現場で使われていない」といった課題もあります。当グループにおいても、AI 活用を進める中で、「そもそも社員が、どの業務にどれだけ時間を使っているのか分からない」という課題に直面しました。

そこで、社員の PC 上の業務データを記録・分析し、業務の中から「なくせる仕事」「AI やツールに任せられる仕事」「人が判断すべき仕事」を可視化する仕組みを自社で開発しました。AI を導入して仕事を効率化するのではなく、まず自分たちの仕事を可視化し、その結果をもとに AI を使う場所を決めるという考え方です。

■ 自社検証データ

対象：3 部署（総務・管理部門ほか）計 8 名

観測期間：2026 年 6 月 20 日から 7 月 30 日（稼働日 15 日）

操作イベント：437,186 件

削減余地：月 331 時間（自動化・AI 化 219 時間／月 + なくせる可能性のある無駄 112 時間／月）

メール確認・返信：月 145 時間（8 名合計） / 集計ファイル：修正版 1,323 回・元ファイル 720 回

■ 8 名・3 部署で月 331 時間の削減余地

2026 年 6 月 20 日から 7 月 30 日までの稼働日 15 日間、総務・管理部門など 8 名・3 部署を対象に、PC 上で発生した 437,186 件の操作イベントを分析しました。その結果、月 331 時間分の削減余地を確認しました。

- ・自動化・AI 化できる業務：219 時間／月
- ・なくせる可能性のある無駄：112 時間／月

※削減時間は一定の前提に基づく試算であり、実際の削減量は改善方法や運用状況によって変動します。



図1 1 か月の分析で見つかった月 331 時間分の削減余地

■ 「忙しい」の正体はメール：8 名で月 145 時間

分析で特に大きかったのが、メール対応です。8 名合計で、メールの確認・返信だけに月 145 時間を使っていました。「社員が忙しい」という感覚はあっても、その原因を具体的な数字で把握することはでき

ていませんでした。業務を可視化することで、日々の業務の中でメール対応が大きな時間を占めていることが明らかになりました。

■ 「最新版を探す」だけで、ファイルを 2,000 回以上開いていた

もう一つ見つかったのが、ファイル管理における無駄です。ある集計ファイルについて、修正版が 1,323 回、元のファイルが 720 回開かれていました。複数のファイルを確認し、どれが最新版なのかを探す作業が繰り返されていたためです。原因は、社員個人の仕事の進め方ではなく、「正となるファイルが 1 本に決まっていない」という業務プロセス上の問題でした。

こうした、社員が「仕方なく行っている作業」まで可視化できることが、今回の AI 活用の大きな特徴です。

■ 「AI を導入することが目的ではない」



取締役会長

久野 康成

「利益を 2 倍にする方法は、売上を 2 倍にすることではありません。無駄を削れば、売上を増やさなくても利益は増やせます。ただ、その無駄がどこにあるかは、社内にいると見えないものです。私たちも自社で 1 か月、業務を分析してみて、初めて何に時間を使っていたのかを知りました。AI を導入することが目的ではありません。AI を使って、自分たちが何をしているのかを知る。そのうえで、人にしかできない仕事に時間を戻すことが重要だと考えています」

■ 自社で検証した仕組みを、無料提供

自社での検証を通じ、業務時間を可視化することで、これまで感覚的に捉えていた「忙しさ」や「無駄」を具体的なデータとして把握し、改善ポイントを特定できることを確認しました。そこで当グループは、人手不足や業務効率化に課題を抱える中小企業にもこの仕組みを活用してもらうため、2026 年 8 月 1 日より「AIBOU 無料業務診断」の提供を開始しました。

対象企業の PC に専用アプリをインストールし、約 1 か月間、通常どおり業務を行ってもらいます。収集したデータを AI が分析し、次の 3 つに整理します。

- ・なくせる可能性のある業務
- ・自動化・AI 化できる業務
- ・経営判断が必要な業務

さらに、削減効果と着手のしやすさから優先順位をつけ、「何から始めればよいのか」まで業務診断レポートにまとめます。

診断終了後は、PDF レポートの提出と 60 分間のオンライン報告会を実施します。アプリ利用料、初期設定サポート、レポート作成、報告会を含め、診断費用は無料です。診断のみで終了することも可能で、改善支援を希望する企業には、別途支援内容と費用を提案します。

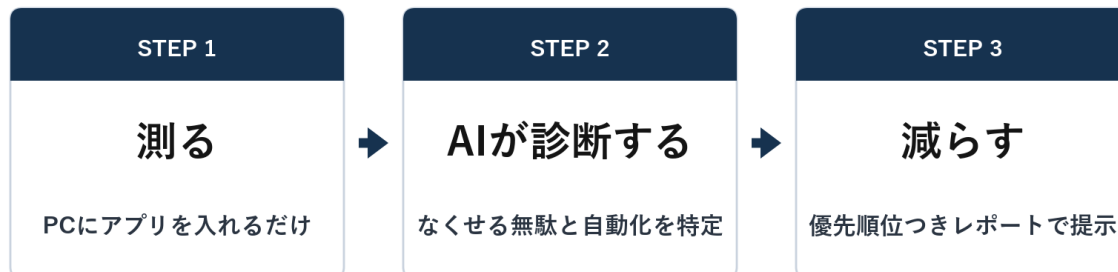


図2 測る、AI が診断する、減らす。約 1 か月で完結する 3 ステップ

■ サービス概要

サービス名：AIBOU 無料業務診断

提供開始日：2026 年 8 月 1 日

対象：中小企業（経理・総務などのバックオフィス部門。数名から導入可能）

診断期間：約 1 か月

費用：無料（アプリ利用料・初期設定サポート・レポート作成・報告会を含む）

提供物：業務診断レポート（PDF）＋オンライン報告会（60 分）

備考：秘密保持契約（NDA）の締結に対応

Web：<https://keiei.kuno-cpa.co.jp/aibou-shindan>

■ 会社概要

社名：株式会社東京コンサルティンググループ

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-5-3 AM ビルディング 7 階

創業：1998 年 / 代表取締役会長：久野康成（公認会計士・税理士）

グループ従業員数：357 名 / 海外展開：26 か国 34 拠点

事業内容：海外進出コンサルティング、国際会計税務、クロスボーダーM&A、AI・DX 支援

【本件に関するお問い合わせ・取材申込先】

株式会社東京コンサルティンググループ 広報担当 佐野立樹

TEL：03-5369-2930 / mail：ns@tokyoconsultinggroup.com

Web サイト：<https://kuno-cpa.co.jp/>